





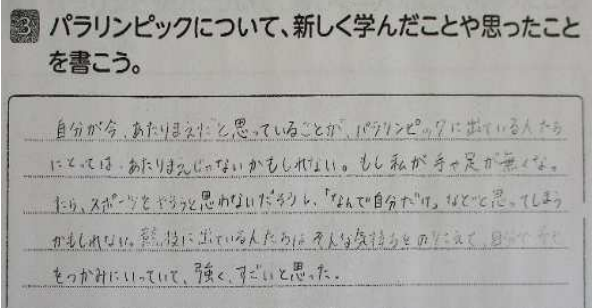
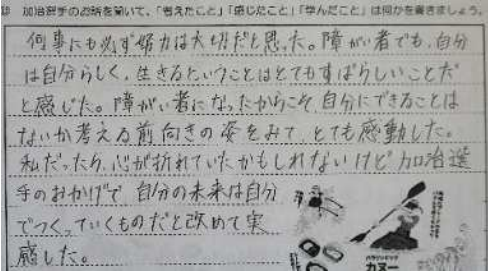
令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 津島市立天王中学校 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	1年生生徒107名及び教職員・保護者15名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 特別の教科 道徳・総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ 人権教育講演会 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催に向けて、興味や関心を高める。 ・ パラアスリートの方の話を聞くことを通して、障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、誰もが生きやすい社会を構築しようとする姿勢をもつ。
5 取組内容	<p>(1) パラリンピックってなんだろう？【道徳】</p> <p>講演会を迎えるための事前指導として、パラリンピックについて考える時間を設定した。</p> <p>1年生全生徒を対象に、道徳の時間を活用して実施した。教材として、パラリンピック教材「I'm POSSIBLE」を使用し、中学校版テーマ「パラリンピックの価値」の中にある内容を取り上げた。</p> <p>教材の動画を視聴したり、ワークシートを活用したりして、パラリンピックについて関心を高める学習を進めた。</p>   <p>(2) 人権教育講演会【総合的な学習の時間】</p> <p>講師に、愛知県パラリンピック強化指定選手の加治良美氏を迎え、「人権教育講演会」として開催した。演題は、「夢を現実に」とし、御自身のこれまでの歩みとスポーツへの取組について話された。</p> 

	<p>また、この行事は、PTA健全育成部会と共催し、保護者の参加を呼びかけた。</p> <p>講演では、障がいをもたれた後の歩みやスポーツとの関わり、現在のカーン競技の様子について講演をしていただいた。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事前指導では、臨場感のある動画を通して、生徒はパラリンピックの様子をうかがうことができ、パラリンピックについての理解が深まった。   <ul style="list-style-type: none"> クイズ形式の内容で楽しみながら事前指導を進めることができたため、いろいろな競技について関心を高めることができた。 講演会では、講師の先生がこれまでの障がいと向き合われた姿を分かりやすく伝えていただき、生徒の心に深く残る時間となり、自分の生き方について振り返ることができた。 講師の方のこれまでの歩みが、生徒の学校生活への励ましとなったことが、講演会後の感想から伝わってきた。 カーン競技の動画を見せていただくとともに、実際のカーン競技の用具を会場で示していただいたことで、カーン競技について理解を深めることができた。 講演会の後には、講師の方へメッセージを書き、講師のもとに届けることを行った。そのことで、パラリンピックの開催を楽しみにすることにつながったと考えられる。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講師は愛知県出身であり、近隣の学校で教職に就かれていたため、学校の様子を熟知して講演をしていただけた。 講師に障がいとどのように向き合われてきたかを話していただくことで、本校が取り組んでいる人権教育に関連付けることができた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育科の学習内容で、オリンピックを取り扱う部分があるため、関連を図るとよかった。 新型コロナウイルス感染症予防ため単学年での実施としたが、他学年では、オリンピックに関する教材を道徳で扱っているため全校での事業の還流活動がもてるとよい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教室にある新聞等を通して、オリンピックやパラリンピックへの子供たちの関心を高めていく。